

北海道の民放4局・NHKが 災害時のヘリ取材で協力



HBC機

NHK機

STV機

HTB機

UHB機

撮影:令和7年4月26日 札幌・丘珠空港

UHB北海道文化放送は北海道の民放局(HBC北海道放送、STV札幌テレビ、HTB北海道テレビ)とNHKの間で、北海道沿岸に大津波警報が発表された場合などに取材ヘリコプターの映像を共有することを盛り込んだ覚書を5月1日付で締結しました。千島海溝・日本海溝周辺の巨大地震など、大規模災害発生時に5局のヘリが撮影した道内各地の津波や被害の状況を速やかに放送、配信することで、迅速な避難に繋げてもらおうという取り組みです。それぞれの局が単独でヘリ取材するより広範囲をカバーできるため、広大な北海道で減災報道の体制が大幅に強化されることになります。道内では、最悪の場合、千島海溝周辺の地震で約10万人、日本海溝周辺の地震で約15万人が犠牲になるおそれがあると想定されています(道の被害想定)。ひとりでも多くの命を守るため、北海道の民放4局とNHKは連携して減災に取り組んでいきます。同様の取り組みは、既に名古屋地区や九州地区などで始まっていますが、北海道内では初めてです。今後、定期的に共同で訓練を行い、災害発生直後の混乱した状況の中でも協力体制が取れるように、連携を図っていくことにしています。

UHB報道制作局 向田陽一局長 「大災害時、道内各地の状況を迅速に伝えるには局の垣根を超えて、連携していく必要があると判断しました。広大な北海道において札幌から離れた地域でヘリ取材を継続して行うには給油できるスポットの確保が課題で、今後、関係機関に協力を要請していく予定です」

お問合せ:UHB報道情報部 青山 電話 011- 214-5311